

令和6年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
9	12	小 松 快 造 議員		1 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
1	富士宮市の農業について	<p>今日本の農業は、農業従事者不足、後継者問題、農地の問題など問題が山積している。そこで伺う。</p> <p>(1) 農林水産省の発表によれば、2021年度に日本の食料自給率は40%を切り数年経つが、我が富士宮市で換算すると何パーセントぐらいか伺う。</p> <p>(2) 富士宮市内の畜産農家の経営も、円安による輸入飼料や光熱費の高騰などで厳しい経営状況との声が聞かれるが、市は何か対策があるのか伺う。</p> <p>(3) 農業従事者不足、後継者問題について市はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(4) 現在の富岳館高校が22年程前に、校名変更に伴い農業高校から総合高校に変更されたが、後継者問題対策として農業に関するクラスの増設を県に要望することはできないか伺う。</p> <p>(5) 市は富士宮市の農業の将来をどのように描いているのか伺う。</p> <p>(6) 学校教育の中で、農業の重要性をどのように取り入れているのか伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	環境への取組について	<p>富士宮市は、2021年1月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年までの脱炭素社会実現に向けた道筋を描いた「富士宮市ゼロカーボン推進戦略」を策定したがそこで伺う。</p> <p>(1) 2050年に向けた進捗状況と、具体的な取組について伺う。</p> <p>(2) 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入推進、「地域循環共生圏」の形成、省エネルギーの推進、環境に配慮したライフスタイルへの転換の4つの基本方針のもと、各施策に取り組むとあるが具体的に何を行ったか伺う。</p> <p>(3) ゼロカーボンシティを実現するためには、市民、事業者、行政が一体となって、「オール富士宮」で取り組むことが必要とあるが、市民、事業者の理解や協力は得られているか。また、どのような形で啓発しているのか伺う。</p> <p>(4) 環境問題は、家庭家族単位で話し合うことが必要であり、子どもから父母へ、子どもから祖父母へ家庭で話し合うことが重要と考えるが、教育現場ではどのように考えるか伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
3	持続可能な地域コミュニティの在り方について	<p>各自治会が地域コミュニティの形成における中核的な役割を担い、日常生活のふれあいや共同活動、共同体験を通じて住民の連帯感や信頼関係を構築することによって地域社会を形成してきた。しかし、少子高齢化や未婚者の増加、地域活動への無関心層の増大によって自治会活動にも大きな影響が出ると思われる。また、役員の成り手不足や役員の高齢化などの問題もある。このような状況の中、将来にわたって持続可能な地域コミュニティを形成することが必要と考えるが以下伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

発言 順序	9	議席 番号	12	氏名	小 松 快 造 議員	2 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
		(1) 市は、自治会活動の課題認識についてどのように考えるか伺う。 (2) 市は、異常気象、地震災害、富士山噴火など防災対策について、各自治会に何を求め、どのような指導をしているのか伺う。				
4	市民文化会館改装中の対応について	(1) 富士宮市内において文化芸術の活動を続けている団体がある。活動団体は、子どもたちに舞台芸術を観る、学ぶ、教える、表現することを通じて、子どもたちが生涯心豊かに、生活に潤いを持って生きていけるための活動を行っている。プロのアーティストなども関わっており、本物と出会い本物に触れる良い機会だと思うが、市民文化会館が改装中のため活動の場所がないようである。何か良い方法がないか伺う。				市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長